

横浜北支部の平成24年度夏合宿が7月27～29日の2泊3日で行われた。

昨年は震災の影響で中止した為、2年ぶりの夏合宿は、約50名が参加。

半数近くが初参加ということで、集合時は若干の緊張感が漂う。



バスで移動すること約2時間。

最初の目的地である公共の体育館に到着。

初日の稽古は宿に着く前に行われる。

合宿では昇級審査も行われる為、審査を受ける人と受けない人が分かれる。

審査は今西師範と杉山師範代が担当し、非常に厳しく緊張感のある審査となっていた。



審査を受けないほうは、突き型の型、十八という型を稽古。

通常の道場稽古ではあまりやらない型を1時間半ほど集中して稽古したことで、ほとんどの人が覚えることができた。

初日の稽古が終ると、宿へ移動して食事。

激しい稽古後に関わらず、子供達は食欲旺盛にモリモリご飯を平らげていた。



移動と稽古の疲れからか参加者は21時には就寝。

初日は無事に終了。

合宿2日目。

午前4時起床。

数多ある夏合宿でも、かなり早い起床時間だろう。

外は真っ暗。

暗い道を10分ほど歩いて海に到着。



うっすらと明るくなってきた砂浜で稽古が始まる。



横一列となり海に向かって技を繰り出す。

そのうちに朝陽が昇ってくる。



朝陽を見ながら基本稽古を行う。  
夏合宿の醍醐味の一つだ。



基本稽古の後は、帯ごとに分かれての稽古。



海に入り、足場の悪い状態での型稽古など、道場ではできない貴重な稽古を行った。



朝稽古が終わり、朝食を食べた後はバスで体育館まで移動して再び稽古。



ここでも帯ごとに分かれ、そのレベルにあった稽古が行われた。



初段から1級は今西師範が直接稽古。

全員が気合か絶叫か聞き分けができないほど、声を張り上げて稽古を乗り切っていた。

午前の稽古が終わった後は、海での自由遊び。

子供達、大興奮。



単に波が寄せたり引いたりしているだけなのだが、時間を忘れて遊ぶ子供達。

昨今では遊びといえばゲームばかりしている子供が多いが、子供にとって自然が一番のおもちゃなのだろう。



途中でスイカ割りなどのイベントも行い、子供から大人まで大盛り上がり。

つい数時間前まで激しすぎる稽古をしていたことなどすっかり忘れてしまったようだった。

海でたっぷり遊んだ後は、バーベキュー。

大量の肉を鉄板で焼いて焼いても子供達はあっという間に食べ尽くしてしまう。



女子部、一般部の方々がとてもよく協力してくれたおかげで、なんとか子供達の腹を満たすことができた。



2日目も無事終了。

合宿最終日。

午前5時起床。

最終日の朝稽古は疲労も溜まっている事を考慮し、リレーや相撲などの盛り上がる内容。

予想以上に盛り上がるリレーと相撲。



今西師範からの

「極真は「勝負にとことんこだわれ！！」

という言葉どおり、全員が全力で競技に取り組んでいた。

大盛り上がりの中、夏合宿の全課程が終了。

参加者の気力体力を最後の一滴まで絞りきった。

合宿を乗り切った道場生は身も心も大きく成長したことだろう。

そして、一般部や少年部など、道場ではなかなか交流できない道場生同士が世代を超えて親睦を深められたことが合宿の最も素晴らしいところだ。



✕ 閉じる